

令和元年度一般財団法人群馬県母子寡婦福祉協議会事業報告書

[事業報告]

I 法人の概況

- 1 設立年月日 昭和25年3月6日（昭和37年1月29日財団法人認可）
平成25年4月1日から一般財団法人へ移行
- 2 定款に定める目的
この法人は、県内母子寡婦福祉団体の業務の円滑な推進を図り、ひとり親家庭の福祉の増進に努め、健全なる家庭生活の確立に寄与することを目的とする。
- 3 定款に定める事業内容
 - (1) 母子寡婦福祉推進に関する事業
 - (2) 母子家庭等就業支援対策（職業紹介事業を含む）に関する事業
 - (3) 母子及び父子並びに寡婦福祉法施行令（昭和39年政令第224号）第6条に掲げる事業
 - (4) その他この法人の目的を達成するために必要な事業
- 4 所管官庁
群馬県生活子ども部県民活動支援・広聴課
- 5 会員の状況
前期末会員：1, 342名
当期末会員：1, 163名
増 減：▲ 179名
- 6 主たる事務所・施設の状況
主たる事務所：前橋市新前橋町13番地12
県社会福祉総合センター5階
軽食喫茶ポルト：前橋市新前橋町13番地12
県社会福祉総合センター1階
こどもの国売店（令和元年9月末で閉店）
：太田市長手町480番地
ぐんまこどもの国児童会館内

7 役員に関する事項

任期：平成30年5月25日～令和2年5月定時評議員会の終結まで

役 職	氏 名	常勤・非常勤	担当職務・現職
相談役	星 野 映 子	非常勤	桐生市母と子の会会員
理事長	松 浦 政 子	非常勤	新町母子寡婦会長
副理事長	高 田 啓 子	非常勤	藤岡市母子会長
副理事長	峯 木 純 子	非常勤	館林市母子寡婦会長
副理事長	小 林 政 子	非常勤	太田市母子会長
常務理事	※ 高 橋 栄 樹	常 勤	事務局長
理事	中 村 百合子	非常勤	前橋市母子寡婦会長
理事	須 永 美津江	非常勤	伊勢崎市母子会長
理事	小 林 活 代	非常勤	沼田市母子会長
理事	小 林 淳 美	非常勤	れんげつつじ会長
理事	小 林 千亜紀	非常勤	玉村町母子会長
理事	松 井 千 明	非常勤	母子部長（伊勢崎市母子会）
監事	木 暮 由記子	非常勤	安中市母子副会長
監事	新 井 真 理	非常勤	藤岡市母子会書記

※は令和元年5月27日から

8 職員に関する事項

常 勤 職 員：2名（事務局2名）

非常勤嘱託職員：3名（就業・自立支援センター2名、ポルト1名）

臨 時 職 員：4名（ポルト2名、こどもの国（令和元年9月末まで）2名）

9 許認可に関する事項

一般財団法人群馬県母子寡婦福祉協議会移行認可書

平成25年3月18日 群馬県指令学第20137-43号

平成25年4月 1日 一般財団法人へ移行

II 事業の状況

1 事業の実施状況

(1) 母子寡婦福祉推進に関する事業

ア 各種大会・研修会

- ① 令和元年度全国母子寡婦福祉研修大会（第73回関東地区母子寡婦福祉研修大会）への参加

期 日：令和元年10月26日（土）、27日（日）

場 所：神奈川県川崎市内

内 容：テーマ「つなごう人の輪、守ろう地域の輪」

式典、行政説明、研修討議、大会宣言・決議、講演会

参加者：9人

- ② 第69回母子家庭・寡婦福祉県民大会の開催（群馬県母子保護連盟（県母連）と共催事業、共同募金助成事業）

期 日：令和元年10月20日（日）

場 所：県社会福祉総合センター

内 容：主催者挨拶、表彰、来賓挨拶、大会宣言・決議、竹内昌彦氏による記念講演

参加者：262名

・準備委員会の開催

期 日：令和元年6月14日（金）、10月4日（金）

場 所：ホテル1-2-3前橋マーキュリー、県社会福祉総合センター501会議室

議 題：開催要綱、運営、役割分担等の検討

・県民大会係員打合せ会議

期 日：令和元年10月10日（木）

場 所：県社会福祉総合センター501会議室

議 題：県民大会業務の説明

- ③ 関東地区母子部長会議への参加

山梨県が当番県となり、母子部の課題等について、研修・情報交換を行った。

本会母子部長が出席した。

期 日：令和元年6月30日（日）

場 所：山梨県甲府市内

議 題：新規会員の獲得状況等について

イ 機関紙の発行

- ① 機関紙「母と子」の発行

県母連と共同で機関紙「母と子」第87号を発行し、母子家庭・寡婦に関する情報の提供をはじめ、福祉団体としての目的や事業等の周知を図った。

配布部数：7,500部

- ② 母子部「スマイル・スマイリー」の発行

令和元年5月に機関紙32号及び10月に33号の発行を通じて、イベントの周知や新たな支援制度等についての情報提供を行った。

配布部数：2,000部

- ③ ホームページでの情報提供

諸事業の募集や会の活動の状況を掲載した。

ウ 母子と寡婦の交流・体験の実施

- ① 親子ボウリング大会（県社協振興事業）

ひとり親家庭の親子の絆を強め健康増進を図るため、親子ボウリング大会を開催した。

期 日：令和31年4月21日（日）

場 所：太田市内「ドリームスタジアム太田」

参加者：47名

② ひとり親家庭体験研修事業（県社協振興事業）

父親と母親の二役を担う母と子が時間を共有する中で、他の母子との交流を図りながら、明日への鋭気を養い、もって今後の母子寡婦会の組織強化に繋げた。

期 日：令和元年7月27日（土）

場 所：鉄道博物館、グリコピアイースト

参加者：41名

③ 親子ふれあい交流事業（県受託事業）

ひとり親家庭の親子及び寡婦を対象に、母子家庭と寡婦の体験を深める講習会や明日の活力を助長するレクリエーション事業を実施するための経費の一部を助成した。

・レクリエーション事業：21事業（参加者787人）

母・父：299人

子ども：384人

寡 婦：104人

・講習会・体験事業：7事業（参加者186人）

母・父：69人

子ども：90人

寡 婦：27人

合計 28事業 973人

④ お母さん旅行

県母連との共催により実施した。

期 日：令和元年6月2日（日）～4日（火）2泊3日

場 所：京都仁和寺、おごと温泉、あわら温泉、東尋坊他

参加者：197名

⑤ 子育てを卒業したお母さんの東京観劇ツアー（共同募金助成事業）

子育てを終了したお母さん方に引き続き母子会に残って活動してもらい地域の母子会活動の活性化につなげることなどを目的に実施した。

期 日：令和元年7月11日（木）

場 所：東京宝塚劇場、第一ホテル東京

参加者：44名

⑥ ひとり親家庭キャンプ in 赤城（国立赤城青少年交流の家と共催事業、共同募金助成事業）

国立赤城青少年交流の家と共催で、ひとり親家庭の日帰り及び宿泊キャンプを実施した。内容は、うどん打ち、ネイチャークラフト、カレー作りや魚のつかみ取り体験など。

・日帰り

期 日：令和元年7月13日（土）、12月7日（土）

場 所：国立赤城青少年交流の家

参加者：37名

・宿泊

期 日：令和元年8月23日（金）、24日（土）

令和2年1月25日（土）、26日（日）

場 所：国立赤城青少年交流の家

参加者：74名

⑦ ひとり親家庭無料学習支援事業（県受託事業、玉村町受託事業、県補助事業）

県内4教室でひとり親家庭の児童を対象に、無料学習支援事業を実施した。毎週土曜日、5教科。「学校と家庭以外の居場所づくり」を基本とし、児童の健全育成に寄与した。

期 日：平成31年4月27日（土）～令和2年2月15日（土）

場 所：藤岡市総合学習センター、県社会福祉総合センター、玉村町西児童館、高崎市榛名福社会館

参加者：児童31名

⑧ ひとり親家庭プロ野球無料観戦招待事業

西武ライオンズ球団の秋山翔吾選手等はひとり親家庭をプロ野球に無料で招待する事業を行った。5、6、7、8、9月合わせて44人の母子が野球観戦に参加し、サイン会、握手会、記念写真等のファンサービスで楽しいひとときを過ごした。

なお、秋山選手は、この事業が社会貢献として評価され、報知新聞社から「令和元年度ゴールドスピリット賞」を受賞し、これに際し、賞金の一部を当財団に寄付していただいた。

⑨ ローソン(株)による「夢を応援基金」給付型奨学金事業

ローソン(株)による返還不要の給付型奨学金事業が平成29年7月から開始され、中学3年生から高校3年生までが対象で、令和元年度は全国で400名が奨学生に選考された。本県では18名の応募があり、一次審査、二次審査(面接・作文)を県母子会で行い全国母子寡婦福祉団体協議会(全母子協)に推薦を行ったが、最終的に全母子協から7名の合格通知があった。採用者には月額3万円の返還不要の奨学金が給付された。

(2) 母子家庭等就業支援対策(無料職業紹介事業を含む)に関する事業

ア 群馬県母子家庭等就業・自立支援センター(無料職業紹介事業を含む)事業

① 群馬県母子家庭等就業・自立支援センター事業(県・前橋市・高崎市受託事業)

ひとり親家庭等の社会的自立を促進するため、職業紹介をはじめとして、就業相談員による就業支援、求人情報の提供、講習会など一貫した就業支援サービスを総合的に提供し、ひとり親家庭の母(父)及び寡婦の自立を支援した。また、弁護士による養育費相談会や就業支援のためのパソコン講習会等を開催した。

・就業支援

就業相談：169件

・パソコン初級講習会

期 日：令和元年10月6日(日)～11月24日(日)計8回

場 所：中央総合学院TAC群馬校

参加者：20人

・弁護士による養育費等相談会実施

期 日：令和元年7月26日(金)、11月9日(土)、令和2年2月22日(土)

場 所：県社会福祉総合センター

相談者：19人

・養育費相談

相談件数：58件

その他関係機関と連携・協力し、ひとり親家庭の就労の推進を図った。

※市町村への出張相談会の実施：23回、21市町村、相談者54人

※地域雇用対策連絡会議(各ハローワーク主催)に出席

② 群馬県自立支援プログラム策定事業(県・前橋市・高崎市受託事業)

児童扶養手当受給者の自立を促進するため、個々のケースに応じた自立支援計画書を策定し、これを基に市町村担当課やハローワークと緊密に連携することで、確実な就業・自立支援を行った。

支援計画策定件数：4件(うち就職2件)

③ 母子・父子自立支援員等研修会

期 日：令和元年6月7日(金)

場 所：県社会福祉総合センター203A・B会議室

講 師：前橋年金事務所職員

テーマ：「年金の基礎知識と離婚に伴う年金分割・寡婦の年金(遺族年金)」

参加者：27名

④ ひとり親家庭就業支援セミナー

期 日：令和元年7月13日(土)

場 所：県社会福祉総合センター203A・B会議室

テーマ：「手肌のケアとハンドマッサージ体験」

参加者：21人

(3) 母子及び父子並びに寡婦福祉法施行令第6条に掲げる事業

ア 収益事業

① 売店開設事業

ぐんまこどもの国児童会館内に売店を設置し、収益金を会の運営費及び事業費に充てた。ゴールデンウィークには県母連太田支部及び太田市母子会の地元役員、事務局員の協力を得て売り上げ増進に努めた。

なお、当該売店は令和元年9月末で閉店とした。

② 軽食喫茶室経営

県社会福祉総合センター1階の軽食喫茶「ポルト」は、他業者との競合があるものの、メニュー等の工夫、営業努力を行い、利用者の要望に答えた。

営業内容

喫茶軽食の提供

センター内外会議用弁当の取り次ぎ等

③ 自動販売機の設置

ベシア文化ホール（群馬県民会館）、群馬の森、県社会福祉総合センター、ぐんまこどもの国児童会館、県総合スポーツセンター、ぐんまアリーナ、県青少年会館、館林市つつじが岡公園、群馬中央病院、伊勢崎土木事務所

設置台数：35台

(4) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

ア 母の日運動の実施（主催：県母連、後援：県母子会）

毎年5月の第2日曜日を「万国母の日」として、母に感謝の気持ちを捧げる主旨のカーネーション佩用運動を実施し、県母連と県母子寡婦会の会員の協力によって得られた寄付金を県母連とその支部及び市町村母子会の運営に充当した。

イ 郡市町村母子福祉団体幹部・事務担当者研修会

期 日：平成31年4月26日（金）

場 所：県社会福祉総合センター203A・B会議室

内 容：県児童福祉課令和元年度予算及び事業概要
県母連、県母子会令和元年度事業概要等

参加者：69名

ウ 各種団体に対する要請

① 県・県教育委員会に対する要望

令和元年9月に、群馬県女性団体連絡協議会を通じて県及び県教育委員会に対しひとり親家庭の正規雇用策の充実等6項目の要望を行った。

② 群馬県社会福祉総合センター団体の群馬県への団体要望

令和元年8月に、県に対し、自動販売機設置の要望を行った。

③ 自民党政調会に対する要望

令和元年10月に、自民党政調会に対し、自動販売機設置の要望を行った。

2 役員会に関する事項

(1) 理事会の開催

① 5月理事会

期 日：令和元年5月17日（金）

場 所：県社会福祉総合センター特別会議室

議 案：平成30年度事業報告及び収支決算等について

② 5月書面理事会

期 日：令和元年5月27日（月）

議 案：常務理事の選定について

③ 10月理事会

期 日：令和元年10月4日（金）

場 所：県社会福祉総合センター501会議室

議 題：理事長及び常務理事の職務執行状況報告について

- ④ 12月書面理事会
期 日：令和元年12月16日（月）
議 案：職員給与規程の一部改正について
- ⑤ 3月理事会
期 日：令和2年3月17日（火）
場 所：県社会福祉総合センター501会議室
議 案：令和2年度事業計画及び収支予算等について
- (2) 評議員会の開催
 - ① 5月評議員会
期 日：令和元年5月27日（月）
場 所：県社会福祉総合センター501会議室
議 案：平成30年度事業報告及び収支決算等について
 - ② 3月評議員会
期 日：令和2年3月26日（木）
場 所：県社会福祉総合センター501会議室
議 案：令和2年度事業計画及び収支予算等について
- (3) 正副理事長会議の開催
期 日：令和元年12月6日（金）
場 所：県社会福祉総合センター502会議室
議 題：令和2年度事業計画の検討等について
- (4) 母子部関係会議の開催
 - ① 4月総会・代表者会議
期 日：平成31年4月21日（日）
場 所：「ドリームスタジアム太田」会議室
議 題：平成30年度事業報告及び令和元年度事業計画について
 - ② 11月代表者会議
期 日：令和元年11月17日（日）
場 所：県社会福祉総合センター301会議室
議 題：令和元年度事業の進捗状況及び令和2年度事業の検討について

Ⅲ 法人の課題

1 会員の減少対策

若年母（父）子世帯の母（父）に対し、会への加入促進を如何に進めていくか。

[事業報告の附属明細書]

1 会員数の内訳

令和2年3月31日現在、単位：人

市部	会員数	町村部	会員数	※個人会員	会員数
前橋市	134	神流町	19	高崎市	18
れんげつつじ	38	長野原町	44	渋川市	5
新町	77	東吾妻町	75	富岡市	6
桐生市	71	片品村	41	榛東村	1
伊勢崎市	69	みなかみ町	7	吉岡町	2
太田市	197	玉村町	33	甘楽町	1
沼田市	30	板倉町	10	草津町	1
館林市	87	明和町	26		
藤岡市	28	千代田町	5		
安中市	59	大泉町	16		
みどり市	50	邑楽町	13		
計	840	計	289	計	34
県合計	1,163				

※は市町村母子会のない市町村の会員

2 ひとり親家庭無料学習支援事業

(1) 教室開催状況

教室名 参加児童数 A	開催 回数 ①	児 童		講 師		児童一人当たりの 講師数 ⑤/③
		延べ参加数 ②	1回当たり 参加人数③ ②/① 平均出席率 ③/A	延べ参加数 ④	1回当たり 参加人数⑤ ④/①	
前橋教室 15人	19回	129人	6.8人 45.3%	151人	7.9人	1.2人
藤岡教室 3人	19回	40人	2.1人 70.0%	73人	3.8人	1.8人
玉村教室 10人	27回	186人	6.9人 69.0%	195人	7.2人	1.0人
高崎教室 3人	15回	18人	1.2人 40.0%	34人	2.3人	1.9人
合計 31人	80回	373人	4.7人 60.3%	453人	5.7人	1.2人

(2) 参加児童の学年別内訳

教室名	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計	備 考
前橋教室	3人		19人	12人	39人	56人	129人	県予算
藤岡教室			17人		6人	17人	40人	県予算
玉村教室	18人	19人	40人	23人	71人	15人	186人	県・町予算
高崎教室	3人					15人	18人	県予算等
合 計	24人	19人	76人	35人	116人	103人	373人	